



全体とりまとめイメージと 今後の進め方(案)

令和2年10月13日

全体とりまとめイメージ（案） 1/3

- 対策項目については、対策メニュー及び目標期間(短期、中長期)を設定していく。
 - 流域対策については、目的を明確にし、それぞれの目的ごとに対策メニューをとりまとめる。
 - ソフト対策については、大規模氾濫減災協議会(土岐川・庄内川の水害から命を守るための合同会議)等で位置づけられている施策を中心にとりまとめる。
 - 各々の対策実施例や各圏域での対策メニューについても、イメージ図、旗揚げ等によりとりまとめる。
- ※追加していく施策があれば、適宜追加記載する。

【目標イメージ】

- 河川における対策では、河川整備計画に基づき、以下に示す規模の洪水が発生しても安全に流すことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

〔国河川〕

- ・ 平成12年9月洪水(東海豪雨)、
- ・ 平成元年9月洪水

〔県・政令市管理河川〕

- ・ 各河川において目標とする、安全度1/5~1/30の確率規模の洪水

- 流域における対策では、流出抑制及び内水被害の軽減を図る。

- ソフト対策では、「人命被害ゼロ」及び「社会経済被害の最小化」を目標に被害軽減を図る。

これらの対策を一体的に取り組むことにより、流域全体の安全度を向上させていきます。

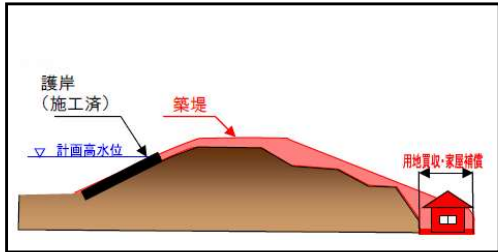
【対策メニューイメージ】

対策項目	対策メニュー	実施者	短期	中長期	
河川における対策	河道掘削	河川管理者			
	橋梁改築	河川管理者 自治体			
	堤防整備	河川管理者			
流域における対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した安全なまちづくり	自治体			
	流出抑制対策	貯留管等の整備	自治体		
		既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	河川管理者		
	内水被害軽減対策	雨水排水網の新設・増強	自治体		
		雨水排水ポンプの新設・増強	自治体		
	早期復旧に備えた対策	防災拠点の整備	河川管理者		
		緊急河川敷道路の整備	河川管理者		
	土砂災害対策	砂防施設の整備	直轄砂防事務所 自治体		
ソフト対策	被害軽減対策	避難場所や経路に関する情報の周知	河川管理者 自治体		
		住民の防災意識向上のための取組	河川管理者 自治体		
	ソフト対策のためのハード整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	自治体		
流域治水を展開する協議会等の設置 (庄内川流域治水協議会、新川流域総合治水対策協議会、多治見市浸水対策協議会)		河川管理者 自治体			

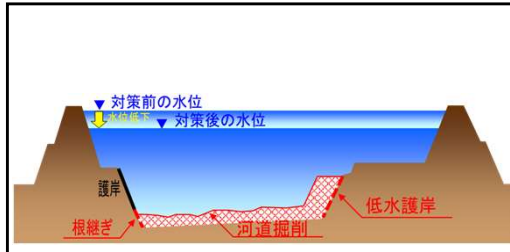
【対策事例イメージ】

【河川における対策実施例】

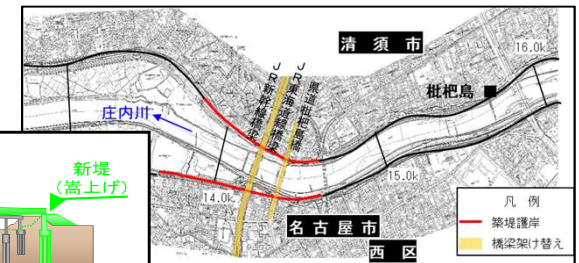
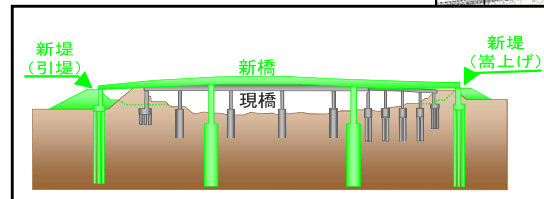
●堤防整備(築堤)



●河道掘削



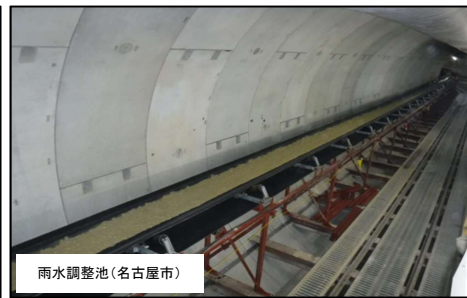
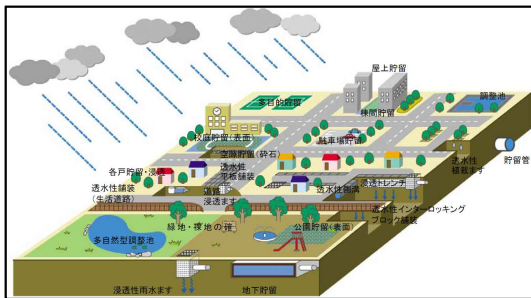
●橋梁改築



枇杷島地区橋梁改築事業

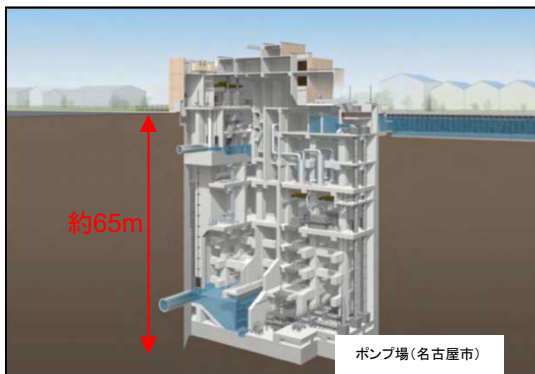
【流域における対策実施例】

●貯留施設の新設・増強



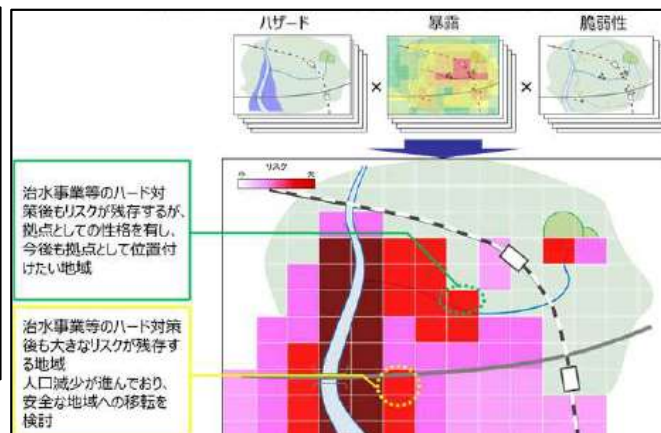
貯留施設内の状況とイメージ

●雨水排水ポンプの新設



ポンプ所完成イメージ

●安全なまちづくりに向けた検討



水害リスク評価を踏まえたまちづくり

【ソフト対策実施例】

●必要なリスク情報の周知



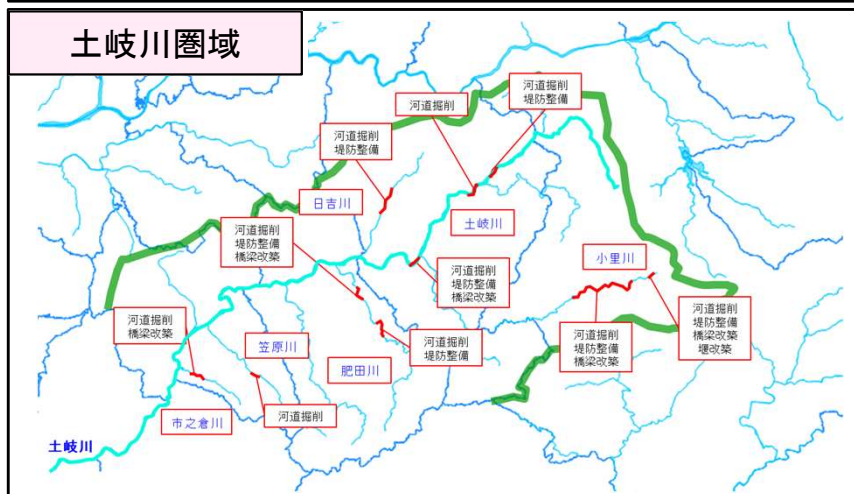
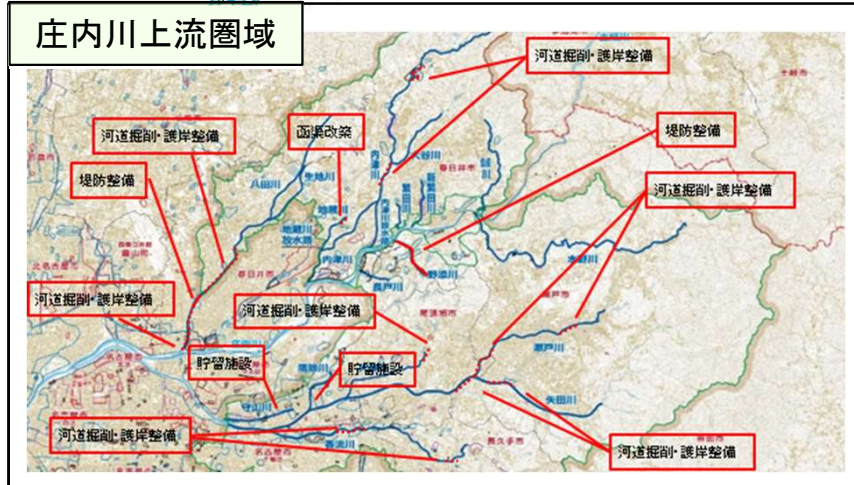
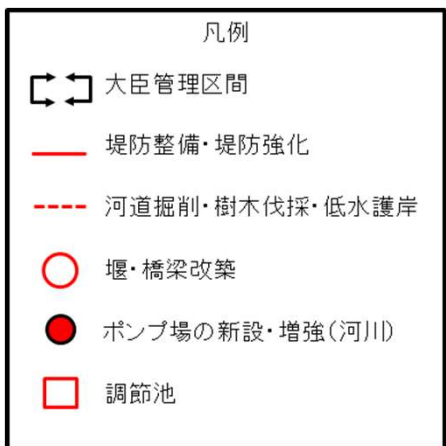
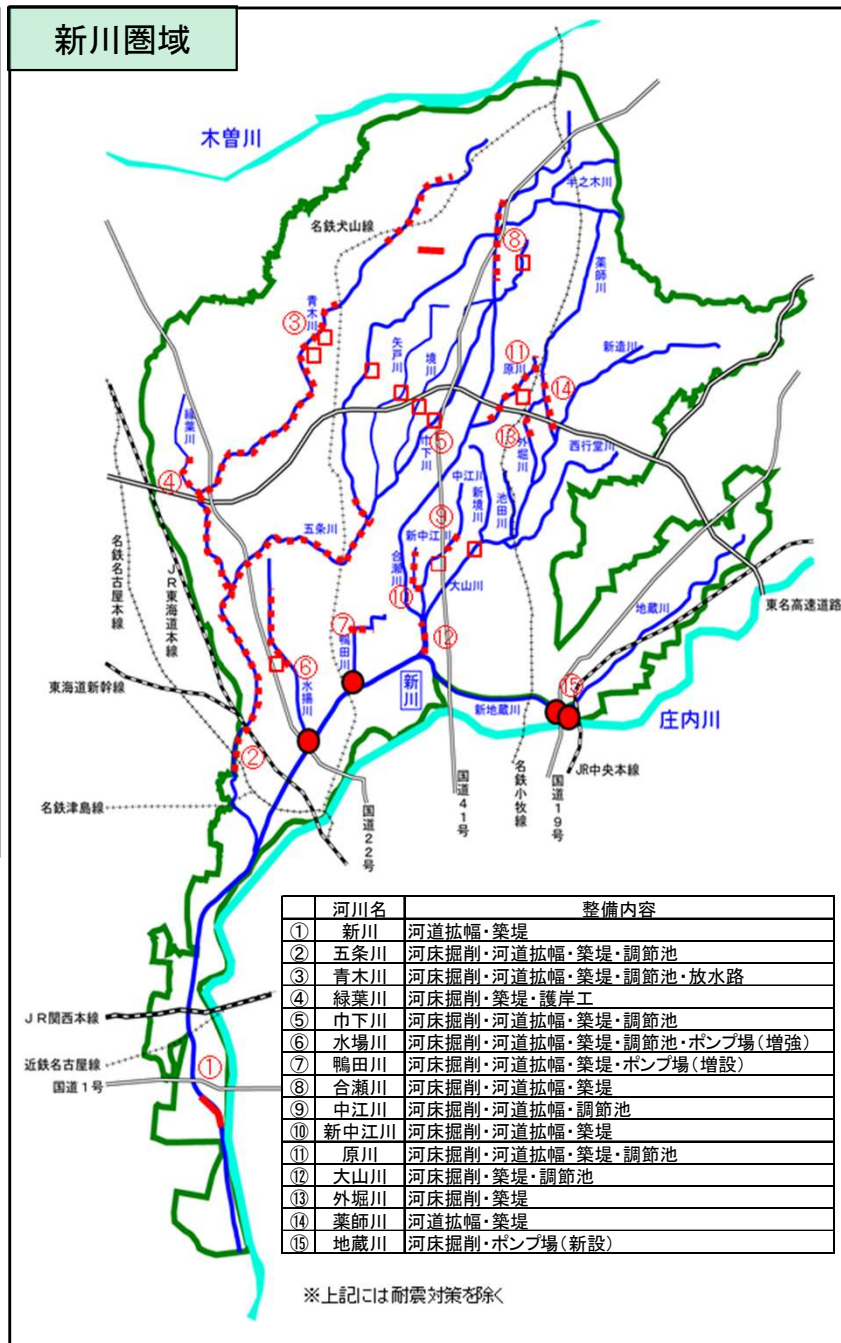
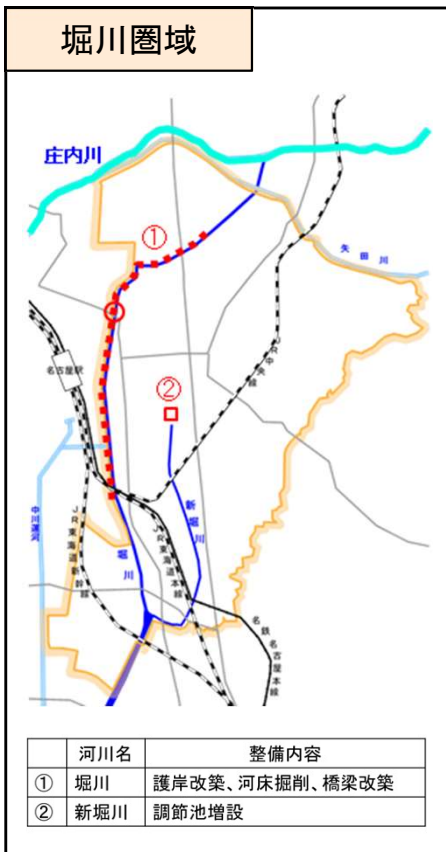
緊急速報メールを活用した洪水情報の配信

●実施体制の整備(タイムライン)

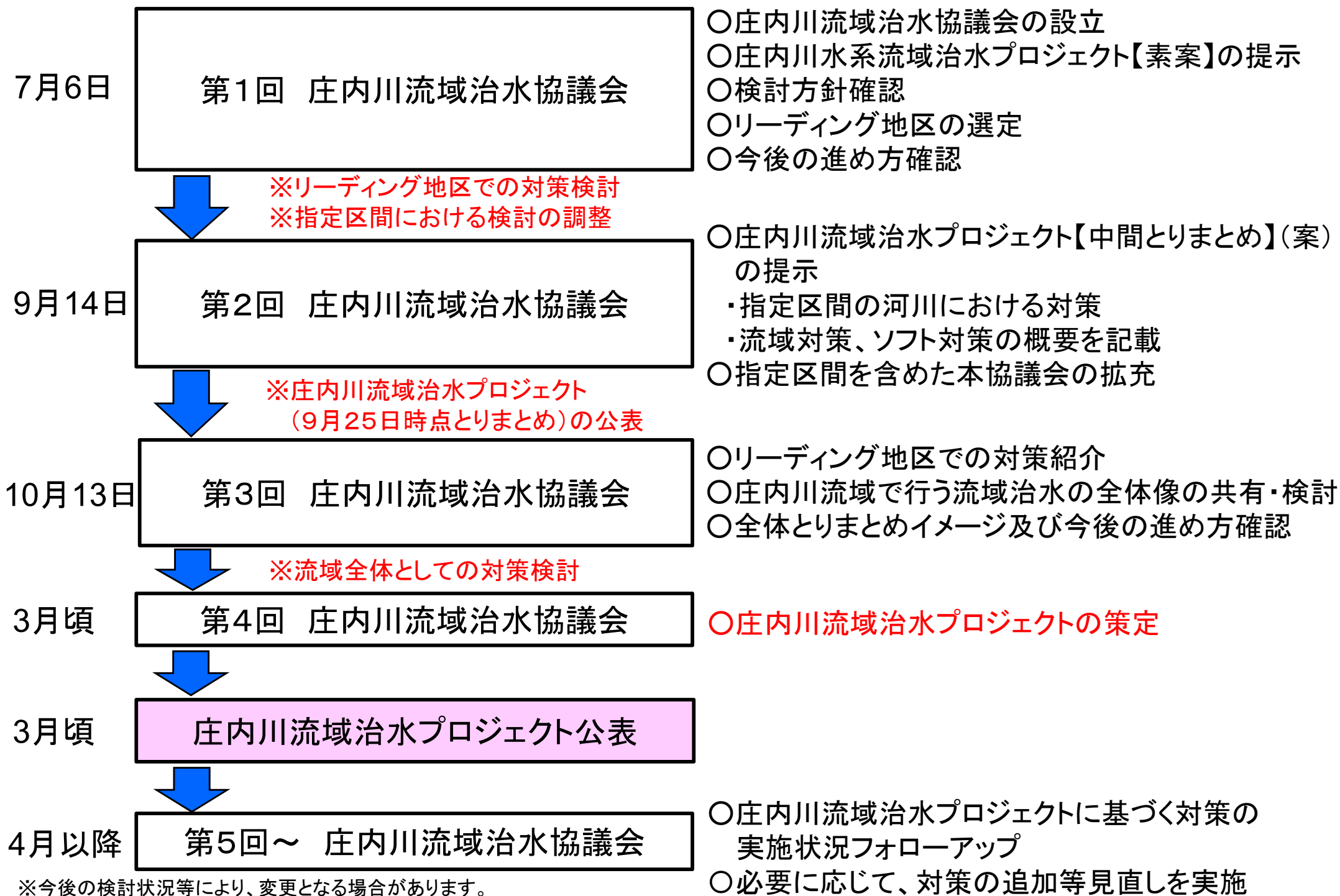


全体とりまとめイメージ（案） 3/3

【各圏域での対策メニューイメージ】



今後の進め方(案)



※今後の検討状況等により、変更となる場合があります。